

【北海道比布町】

校務 DX 計画

学校において、今後さらに校務DXを推進するために「GIGAスクール構想の下での校務の情報化に関する専門家会議」の提言や「GIGAスクール構想の下での校務DX化チェックリスト」による自己点検の結果等を踏まえ、具体的な取組みを次のとおり推進する。

1. 校務系及び学習系ネットワークの統合

教職員の働きやすさの向上と教育活動の高度化を目指し、1台の教職員用端末で2つのネットワーク（校務系及び学習系）を切り替えて利用できるようゼロトラストセキュリティの考え方にに基づき適切にセキュリティを確保しつつ、校務系・学習系ネットワークの統合について調査研究を進める。

2. 校務支援システムのクラウド化

現在、校務支援システムについては、オンプレミス（校内に備え付けのサーバ）で運用しており、教務・保健・学籍・成績管理など様々な校務で利用している。今後、校務に関する情報と学習履歴や記録等の学習系データを有効につなげることで学びを可視化し、学校教育の質向上を目指す次世代の校務デジタル化に向け、校務系ネットワークシステムの現状分析や望ましい校務の在り方に関する検討を行い、パブリッククラウド上での運用を前提とした校務支援システムの早期クラウド化を目指す。

3. 次世代の校務デジタル化に向けた各種ツールの活用

上記2と合わせて、校務の効率化や授業の質の改善を図るため、児童生徒の成績情報等の校務系データ、授業支援ソフトやデジタルドリルで蓄積された学習系データ、MEXCBTなどの教育行政データなど、様々な教育データを自動的に収集・分析し、可視化するための管理ツールの導入について、検討を進める。